

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

水戸市 解答と解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	「水戸」という地名は、古代から海や川の出入口を「みと」といい、那珂川と千波湖(せんばこ)との間に突出した台地の地形上の特色に由来するといわれています。	4
2	水戸市の市旗は、1933年(昭和8年)12月23日に制定されました。 	1
3	水戸市の木に制定されている木は、ウメ(梅)です。ウメは学問を好む木ともいわれ、古くから水戸になじみが深く、春に先駆けて花を咲かせる水戸市にふさわしい木です。新元号「令和」の典拠(てんきよ)となった『万葉集』「梅花の歌 三十二首 并(あわ)せて序」でも、梅の花が詠まれています。	3
4	アメリカ合衆国建国200年祭にあたる1976年(昭和51年)に、両市は「国際親善姉妹都市」の盟約を結びました。現在、水戸市からの訪問団の派遣やアナイム市からの訪問団の受入れの他、様々な交流を重ねています。	4
5	水戸市木葉下町(みとしあぼつけちょう)にある木葉下金山(あぼつけきんざん)は、佐竹氏及び水戸藩が支配していた金山遺跡の一つです。佐竹氏の時には金を、水戸藩第2代藩主徳川光圀(とくがわ みつくに)の時には銀を採っていたとされています。	2
6	大日本史(だいにほんし)は、水戸藩徳川家が編さんしたもので、水戸藩第2代藩主徳川光圀(とくがわ みつくに)が1657年(明暦3年)に着手し、1906年(明治39年)に完成したものです。	1
7	吉田神社は、水戸市宮内町(みとしみやうちょう)にあり、日本武尊(やまとたけるのみこと)を祭神(さいじん)とし、「延喜式(えんぎしき)」では名神大社(みょうじんたいしや)に列せられています。古くから高い社格と長い歴史を有し、「常陸三宮(ひたちさんのみや)」と呼ばれています。	2
8	愛宕山(あたごやま)古墳は、那珂川を見下ろす台地上に立地し、那珂川流域における最大規模(県内第3位)を有する前方後円墳です。全長137メートル、後円部径78メートル、全高10メートル、前方部幅73メートル、同前高9メートルを測る典型的な中期古墳の様相を呈しています。	2
9	水戸出身の長谷川五郎(はせがわ ごろう)氏がオセロの原型を発案したのは、1945年(昭和20)年の終戦の年でした。1973年(昭和48)年にボードゲームとして商品化され、現在は世界中で親しまれるゲームの一つとなっています。	3
10	水戸藩では、水泳の鍛錬(たんれん)を重視し様々な泳法が発達しました。また、それまで武士のみに教えていた水術を、庶民の身を守るために一般にも広めるように命じたのが水戸藩第2代藩主徳川光圀(とくがわ みつくに)です。水府流水術は、180種類もの泳ぎの型が伝わっています。	1
11	ダイダラボウは、海に手を伸ばしてハマグリをとって食べたという伝説の大男です。	4
12	文武不岐(ぶんぶふき)は、知識(理論)を行動(実践)で確かめ、行動を知識によって立証すること(学問も武道も大切にす)を表した言葉です。	2
13	「この印籠が目に入らぬか!」のセリフでお馴染みの格さんは、安積澹泊(あさか たんぱく)がモデルです。同じく彰考館(しょうこうかん)の総裁を務めた人物には、助さんのモデルである佐々宗淳(ささむねきよ)もいます。なお、渥美格之進(あつみ かくのしん)は、テレビドラマ「水戸黄門」での格さんの名前です。	3
14	吉原殿中(よしわらでんちゅう)は、女中吉原が農人形(のうにんぎょう)に供えた御飯を干し飯(ほしいい)にし、これを煎(い)り、きな粉と飴(あめ)でまぶして作ったのが始まりとされています。	2
15	水戸の「偕楽園(かいらくえん)」は、金沢の「兼六園(けんろくえん)」と岡山の「後楽園(こうらくえん)」とならび日本三名園の一つです。偕楽園(かいらくえん)は領内の民と偕(とも)に楽しむ場を作りたいと願い、水戸藩第9代藩主徳川斉昭(とくがわ なりあき)によって造園されました。	1
16	弘道館(こうどうかん)は、水戸藩の藩校として、水戸藩第9代藩主徳川斉昭(とくがわ なりあき)により1841年(天保12年)8月に創設されました。藩士に文武両道(ぶんぶりょうどう)の修練をつませようと武芸一般はもとより、医学・薬学・天文学・蘭学など幅広い学問を取り入れた、いわば総合大学というべきもので、当時の藩校としては国内最大規模のものでした。	4
17	好文亭(こうぶんてい)茶室待合の扁額(へんがく)にある言葉は、「巧詐は拙誠にしかず(こうさはせつせいにしかず)」です。「どんなに巧みにあざむいて上手く見せたとしても、つたなくても誠意のあるものには及ばない。」という意味です。	4
18	水戸の納豆は、1889年(明治22年)の水戸駅の開業にあわせて、駅前広場で売り出されたことをきっかけとし、水戸の観梅とともに観光客の評判となった水戸を代表する商品です。現在、水戸の納豆の特色である小粒大豆を使用した伝統の「わらつと納豆」のほか、北海道産の大豆を使用したものやお菓子などの加工品も多数あります。	2
19	オハツキイチョウは、樹齢400年以上を数え、胸高直径(きょうこうちよっけい)5.8メートル、根回り約9.5メートル、樹高約35メートルのイチョウの木です。稀に葉にも実をつけることからオハツキイチョウと呼ばれており、1929年(昭和4年)に国の天然記念物に指定されています。	3
20	千波湖(せんばこ)は、那珂川水系の湖で、千波湖(せんばこ)と桜川は水戸城の南側の外堀の役目を果たしていました。(現在の湖の面積は、主に昭和期の埋め立てにより狭くなりました。)コブハクチョウやコクチョウをはじめとして、様々な水鳥を1年を通してみることができます。オオハクチョウも飛来する市民の憩いの場となっています。	1
21	水戸城本丸跡は、現在の水戸第一高等学校です。校内には、当時の建造物である薬医門が現存しており、県指定文化財に指定されています。	4
22	かつて水戸市と那珂湊市(現在のひたちなか市)の間を水浜線(すいひんせん)が結んでいましたが、1966年(昭和41年)に全線の営業が廃止されました。	2
23	水戸黄門慢遊マラソンは、南町2丁目をスタートし、偕楽園(かいらくえん)や千波湖(せんばこ)等の観光名所の他、中心市街地やトンネルなど、普段走れない場所を走りながら三の丸旧県庁にゴールするフルマラソンです。フルマラソン完走者には、印籠型の記念メダルが授与されます。	3
24	水戸市のマスコットキャラクターの名前は、「みとちゃん」です。3月10日が誕生日の女の子で、好きなことは偕楽園(かいらくえん)でのお昼寝、お出かけ(黄門様にあこがれて、いずれは全国行脚(あんぎゃ)したいと思っています。)です。	4
25	日本遺産は、観光振興や地域の活性化を図ることを主な目的として、文化庁が2015年(平成27年)度から創設した制度です。「近世日本の教育遺産群」をはじめ、全国で18件がはじめて認定されました。	3